

【リード・ボルダー】2025 スポーツクライミング国際競技大会 ユース日本代表選手選考基準

1. 権限の所在及び決定の方法

国際競技大会に派遣する日本代表選手を選考する最終的な権限は公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、常務理事会による承認を経て決定する。

2. 選手選考方針および義務

- (1) IFSC クライミングユースの国際競技大会の各カテゴリーで優勝し、恒久的に多くの日本選手が世界で活躍できる場を創り出す。
- (2) 国内選考大会の実績をもとに、ユース国際大会のリードおよびボルダーにユース日本代表選手として派遣する。
- (3) 選考された選手は、当協会が定める規程やルールを遵守すること。

3. 選考対象資格

- (1) 2025年12月31日時点で以下の年齢に達していること（IFSC ルール改定に準ずる）。
 - Under 17 (U17) は、15歳または16歳であること（2009・2010年生）
 - Under 19 (U19) は、17歳または18歳であること（2007・2008年生）
- (2) 当協会登録選手規程に従い、A選手登録をしていること。
- (3) 該当種目の2025年国内選考大会に参加すること。ただし、IFSC 枠保有選手については、特別な事情により参加できない場合はその限りではない。

4. 2025年国内選考大会

- (1) 第13回リードユース日本選手権多久大会 (LYC2025) : 2025年5月17日(土) 18日(日)
佐賀県多久市
- (2) 第11回ボルダーユース日本選手権倉吉大会 (BYC2025) : 2025年5月31日(土) 6月1日(日)
鳥取県倉吉市

5. 選考人数

IFSC 枠保有選手を除き、各種目および男女各年齢別グループ（以下、「カテゴリー」とする）別に最大3名ずつ選考する。

6. 対象国際大会

- (1) IFSC クライミングユース世界選手権 (B,L,S) ヘルシンキ 2025
開催地：フィンランド・ヘルシンキ
開催日程：2025年7月28日～8月3日

(2) IFSC クライミングユースアジア選手権 2025（開催地・開催日程ともに未定）およびその他の国際競技大会は、開催が決定となり次第、別途選考基準を公表し、選手選考を行う。

※IFSC ルールや大会要項に変更があった場合には、9. その他を参照

7. 国際競技大会における選手選考基準

(1) LYC2025 および BYC2025 より各種目およびカテゴリー別に上位選手より優先的に各種目それぞれの選考人数を満たすまで選考する。

※同順だった場合は、別紙 1 に示す優先順の選考方法に沿って選考する。

(2) IFSC 枠による選考

IFSC クライミングユース世界選手権貴陽 2024 のボルダーおよびリードにおいて優勝した選手（別紙 2）は、IFSC ルールに従い、その種目にのみ参加することができる。

※IFSC 枠：IFSC ルールに基づき、対象となる国際大会において優勝した選手に与えられる出場資格を指す。

※7.(1)(2)で重複する選手がいた場合は、当該種目およびそのカテゴリーにおいて、7.(1)(2)を除く最上位者を追加選考する。

8. 派遣選手決定および公表時期

派遣選手については、大会開催 50 日前を目処に決定し、大会開催前までに当協会ホームページにて公表する。また、何らかの理由により急遽大会に出場できなくなった場合に、繰り上げ候補の選手を選出できない場合は、当該選手が国別枠を使用したものとみなす。

9. その他

(1) IFSC ルールが変更された場合および大会要項の変更があった場合には、選手選考基準も準じて改定をおこなう。

(2) 選手への渡航費や宿泊費等の補助の詳細については、2025 年度強化委員会予算決定後に選手へ通知する。

<別紙 1>

各種目で同じ順位だった場合の優先について

優先	U17	U19
----	-----	-----

1	<p>2024年ユース日本代表（リード・ボルダー）に選考されている選手</p> <p>1-1. IFSC クライミングユース世界選手権貴陽 2024 に出場している選手のうち、個人順位で高い順位を獲得した選手を優先する。</p> <p>1-2. 1-1 で同順だった場合、あるいは上記大会に出場していない選手は、IFSC クライミングユースアジア選手権（ジャムシェードプル）2024 の個人順位で高い順位を獲得した選手を優先する。</p>	<p>2024年日本代表・ユース日本代表（リード・ボルダー）に選考されている選手</p> <p>※1-1・2を適用</p>
2	<p>2025年6月もしくは7月上旬に開催される強化練習会において、オンサイトシミュレーションを行い、個人順位の高い選手を優先する。</p> <p>※該当者のうち参加できない選手がいた場合は、参加した選手を優先する。</p>	

<別紙2>

IFSC クライミングユース世界選手権貴陽 2024	
IFSC 枠保有選手	
藏敷 慎人	U18 男子リード優勝
長森 晴	U18 男子ボルダー優勝
濱田 琉誠	U16 男子ボルダー優勝
林 有沙	U16 女子リード優勝

【参考】

2025年からのジャパンカップおよびユース日本選手権における カテゴリー編成について
<https://www.jma-climbing.org/article/2024/07/12/2025-Japan-Cup-Youth-Championship-Category-Structure/>